

2024年6月19日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

日本公庫総研レポート No.2024-1

『蓄電池市場を支える中小製造装置メーカーの実態』を発行

日本政策金融公庫総合研究所は日本公庫総研レポート No. 2024-1『蓄電池市場を支える中小製造装置メーカーの実態』を発行しました。

カーボンニュートラル実現の鍵を握るといわれている蓄電池は、スマートフォンやノートパソコンなど多くの電子機器に利用され、いまや生活に欠かせないものになりました。蓄電池市場は今後も拡大する見込みです。蓄電池市場の主なプレーヤーのひとつである製造装置メーカーには中小企業も多く、独自性のある技術を生かして国内外で活躍する企業も存在します。

そこで本レポートでは、蓄電池市場を支える中小製造装置メーカー4社の事例を取り上げ、経営戦略のポイントや取り組みの成果および今後の方針をまとめました。

【本レポートの概要】

1 経営戦略のポイント

事例企業はまず、「受注基盤の確保」により収益を安定させること、次に「納期の短縮」「技術力の向上」により取引先からのニーズに応えています。そして、「独自性の追求」に取り組むことで蓄電池市場の成長につながり、取引先からの信頼を得ています。また、「装置の省エネ化」という付加価値を提供していることもポイントです。

2 取り組みの成果と今後の方針

蓄電池分野への進出の成果は、受注の増加や新規取引先の開拓などに表れています。さらに、クリーンエネルギーに携わることで企業イメージが向上し、人材の獲得にもつながっています。蓄電池市場は拡大しつつありますが、競争の激化も想定されます。今後の方針として、売って終わりではなく、新たな使い道を提案したり、メンテナンスを請け負ったりして、継続的な関係を構築することが必要です。

【事例企業の概要】

企業名	事業内容	主な取り組み内容
株式会社サルクメタル (兵庫県三木市)	試作設備の 設計製造	金属箔に材料を混ぜた合剤塗料を塗るコーターの製造を主力とし、蓄電池の試作を支える。
大野ロール株式会社 (茨城県常陸大宮市)	金属加工機 械の製造	電極に圧力をかけ、厚みをそろえて密度を高めるロールプレスの製造を主力とし、蓄電池の開発から量産までを支える。
長野オートメーション株式会社 (長野県上田市)	生産用機 械の製造	電極とセパレーターをまとめる積層機の製造を主力とし、蓄電池の量産化を支える。
東洋システム株式会社 (福島県いわき市)	電気機 械器具の製造	電圧や電気容量を計測する充放電評価装置の製造を主力とし、蓄電池の開発を支える。

※ 本レポートは、[こちら](#)でご覧になれます。

[バックナンバーはこちら](#)です。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第二グループ (担当: 真瀬・藤田)

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー TEL 03-3270-1269